

授業コード / Code	科目名 / Course Title	担当者 / Instructor	履修年次 / Semester	授業形態・単位数 / Style・Credits	必修選択の別 / compulsory subjects or optional subjects
j29206	幼児と表現Ⅱ(造形)	木俣 創志	2年次・Ⅳ期	講義・1単位	幼児選択必修

授業の概要 / Course Outline
「造形表現指導法」では、創作を楽しむことを優先しながらアート活動全般の基本を深く概観したが、本授業「幼児と表現Ⅱ(造形)」は「子どもの造形」に特化し、子どもの造形の“定番中の定番”の中から制作する。染め紙、デカルコマニー、紙コップアート・紙皿アートを行なう。布おもちゃ、ダンボールアート、子どもとの関わりを通じて考案された民間の創作造形などにも知識として触れる。「造形表現指導法」で学んだ色彩や接着の話をおさらいしながら、子どもの造形について深く習熟する。

到達目標 / Attainment Objectives	ディプロマポリシーとの対応関係 / Relationship with the diploma policy
「造形表現指導法」と同様、造形制作することの楽しさを味わい、造形指導の目的と指導法のコツを学ぶ。以下、到達目標である。①子どもの造形活動に習熟し、その指導ができる。②「つくること・かくこと」を楽しむことができる。	A-② D-①

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation		
種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記) End of Semester Examination (Written)	%	
レポート試験 Report Examination	%	
実技試験 Practical skill test	40%	提出作品による作品評価。
平常点評価 Continuous Assessment	60%	制作姿勢および準備や後片付け等、授業への取り組み。

教科書 / Textbooks
村田夕紀・内本久美 著 『2・3・4・5歳児の技法あそび 実践ライブ』 ひかりのくに 2015年

参考書 / Reference Books
樋口一成 編著 『幼児造形の基礎』 萌文書林 2018年

予習・復習 / Preparation・Review
必要に応じて、百元ショップ等の雑貨店、画材店で、個人により異なる材料を調べ準備する。造形の授業では、学生が真摯に取り組めば取り組むほど、作品、制作ペース、予習復習に費やす時間など、すべてにわたって多様となり、各自異なった結果となる。したがって、授業計画の[準備]時間(予習時間)と復習時間は各90分とするが、あくまでも目安である。また、制作状況に応じ授業計画は変更することがある。

課題に対するフィードバック方法 / How to give feedback on tasks
課題作品等の提出後の授業内で適宜解説する。

その他 / Others
とにかく「やってみよう」と思う学生に集まって欲しい。まずは参加者が制作を楽しむこと、これが私の目標であり参加者の目標…この点は「造形表現指導」と同じである。

授業スケジュール / Course Schedule

※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。

授業回数 Lecture	テーマ / Theme
	内容 / Contents
01	ガイダンス/「造形表現指導法」とのちがいと関連
	デカルコマニー(1) 制作の手順と素材準備 [準備]シラバスを読んでおく
02	デカルコマニー(2) 制作と提出作品の選択
	[準備]制作のプランを考え、独自のアイデアをイメージしておく
03	紙コップ・紙皿アート(1) 制作の手順と素材準備
	[準備]紙コップ・紙皿アートそれぞれの子どもに適した作品制作について調べ、どちらを選ぶか考えておく
04	紙コップ・紙皿アート(2) 制作と作品の完成
	[準備]時間内に仕上がるよう制作手順を調べ考えておく
05	染め紙(1) 制作の手順と素材準備
	かんたん布おもちゃ(動画視聴) [準備]染め紙の制作法について動画、教科書で調べておく
06	染め紙(2) 制作
	かんたんダンボールアート(動画視聴) [準備]染め紙制作の構想を練っておく
07	染め紙(3) 制作と提出作品の選択
	子どもとの関わりを通じて考案された民間の創作造形(動画視聴)
08	まとめ/子どもの作品評価・指導のポイント
	[準備]子どもの作品評価・指導のポイントについて何が大切か考えておく